

令和7年度 第1回 串間市公共施設等総合管理計画検討委員会 議事録

日時：令和7年8月21日

場所：串間市役所3階大会議室

記録：鍋倉 智昭

出席者	根岸裕孝 委員、丹生晃隆 委員、井手明人 委員、西村悟 委員、 加藤真里 委員
欠席者	阿萬光弘 委員
事務局	小玉努 財務課長、谷山貴慶 課長補佐、中山慶輔 係長、 鍋倉智昭 主事
傍聴者	なし
次第	1. 開会 2. 事務局あいさつ（財務課長） 3. 委員及び事務局職員紹介 4. 検討委員会の設置目的説明 5. 委員長及び副委員長選出 6. 委員長あいさつ 7. 議題 1) 委員会運営の確認事項 2) 串間市公共施設等総合管理計画の概要 3) これまでの取組状況及び今後の進め方 8. 第2回検討委員会の開催日程について 9. その他 10. 閉会
資料	資料① 串間市公共施設等総合管理計画検討委員会の設置及び目的について 資料② 串間市公共施設等総合管理計画検討委員会設置要綱 資料③ 委員会運営の確認事項 資料④ 串間市公共施設等総合管理計画の概要について 資料⑤ 串間市のこれまでの取組状況及び今後の進め方について

議事の経過	
発言者	発言の内容
西村委員	1. 開会 ・ 資料確認 ・ 傍聴希望者の確認
	2. 開会あいさつ (財務課長よりあいさつ)
	3. 委員及び事務局職員紹介 (事務局より委員及び事務局職員を紹介)
	4. 検討委員会の設置目的説明 (事務局より資料①の説明)
	5. 委員長及び副院長選出 ・ 事務局に一任する。 ・ 事務局より、委員長に根岸委員、副委員長に丹生委員を選出。 ・ 拍手をもって了承。
	6. 委員長あいさつ (根岸委員長よりあいさつ)
	7. 議題 1) 委員会運営の確認事項 (事務局より資料③を説明)
根岸委員 事務局 丹生委員 事務局	2) 串間市公共施設等総合管理計画の概要 (事務局より資料④を説明)
	・ 計画策定から今までの取組について知りたい。 ・ 今までの取組については次の議題で説明する。
	・ 7 ページ目の図 9 について、横の破線が何を示しているかわからない。 ・ 横の破線についてはそれぞれ過去 10 年間の普通建設事業費の平均となっており、横の数字が平均した年数になる。これは徐々に建設

丹生委員	- 費が上がっていることを示している。 ・建設費が増加傾向にあるのは理解できた。 ・２０１９年に建設費が大きく伸びているが、これの背景を説明してほしい。
事務局	・２０１９年には道の駅の建設があり、ここに多額の費用が充てられている。
根岸委員	・ゆくゆくは市民に対しても同様の説明をすることがあると考えるが、現在の資料では意図が伝わりづらい。 ・グラフ等の図について解説を資料自体に入れる必要があるように感じる。 ・特に図９に関しては一目で平均値をとったものであるとは理解できない。
井手委員	・図９に関して、横の破線を全年度にわたって入れるのではなく、平均をとった年度ごとにするなどの工夫があればわかりやすい。
根岸委員	・５ページ目の人口の将来推計について、こちらも一目でグラフの意図がわかるように、人口自体が半分になり、高齢者比率が上がる等の解説を入れたほうがよい。 ・物価高騰などの事情もあるため、予測しづらさはあると思うが、生産年齢人口が減れば、収入が下がることも伝えなければならない。 ・ついては年少人数についても言及すべき。出生数を見れば小学校の必要性もおのずと見えてくる。
事務局	・小学校の再編については議題にあがることもある。
丹生委員	・８ページ目の市民一人当たりの面積について、こういった見方をすればよいかわからない。国と比較して高いのはわかるが、串間市と国全体との比較だけでは本市の立ち位置を理解しかねる。
井手委員	・宮崎県、及び串間市周辺地域との比較が必要。
事務局	・他自治体についても管理計画策定や更新時に公表していると考えられるが、最新の情報を調べて示す。
根岸委員	・８ページの施設数について、計画策定時から１０個の施設を削減しているのにも関わらず、床面積自体はふえている。これは道の駅建設によるものだろう。
根岸委員	３）これまでの取組状況及び今後の進め方 （事務局より資料⑤を説明） ・資料５ページ目の評価方針の図について説明してほしい。

事務局	・計画策定時に総務省が提示したものを利用して評価しているが、例えば利用者数は少ないがなくすることができない施設を利用検討として評価するものだが、実態にそぐわないことも多々ある。 ・そのため、本委員会ではそういった評価手法についても様々な立場から意見をいただきたいと考えている。
丹生委員	・評価について、利用者目線、管理者目線の点数があるように見えるが、評価の尺度9について説明してほしい。
事務局	・お配りした総合管理計画85ページから記載がある。 ・尺度については把握できておらず、説明は難しい。 ・（評価方針の説明に付随して）現状の評価方法では、特定の人間、あるいはグループの意見ばかり反映される構造になってしまうため、やはり、評価方法の見直しは必要と考える。
根岸委員	・パブリックコメントではコメントする人自体が少ないため、意見が偏ってしまう。
西村委員	・資料に挙げている以外の公共施設マネジメントの事例はあるのか。
事務局	・中央公民館についても公共施設マネジメントの実例になる。旧アクティブセンターに公民館機能を移設し、利用者数も増加していることから成功例であると考え。 ・また、現在消防庁舎の新築をおこなっているため、建設後の旧庁舎について、なんらかの公共利用を検討している。
丹生委員	・資料に整備の方針とあるが、整備という言葉について、国がこのような言葉を用いていることからそういった意味でないと理解はしているが、印象的には施設を新設するようなものが強く感じる。
根岸委員	・整備とは、新設含めて維持や解体等の管理をするという認識でよいのか。
事務局	・その認識でよい。
根岸委員	・資料について、解体費に5億円程度かかるとある。壊すために5億円使うのであれば、別に利用したほうがよいという声は上がるのではないか。 ・こういった意見に対応するためにも維持に必要な費用を示したほうがよい。
事務局	・今回提示した費用については今年度のヒアリングで早急に解体が必要だと考える施設を並べたものであり、今年度中にすべて行う予定ではない。 ・また、早急に対応が必要な施設もこれ以上増えるとは考えにくい

丹生委員	め、現状では5億円の費用を年次的にかけていく方針になる。 ・昨今の情勢を鑑みると、施設にかかる維持や解体にかかる費用はまだあがっていくように思える。
根岸委員 事務局	・解体に際して、市民との合意形成はできているか。 ・今の市民の認識だと、新設または建替のための解体と考える人が一定数存在する。 ・一方で、何かが新設されるのとは別に、施設数削減のために解体していったほうがよいという意見も存在する。
加藤委員 事務局	・急遽解体しなければならない施設が出てきたとき、早急に対応できる予算編成、体制はできているのか。 ・必要な予算については補正予算を作成する形で対応は可能だが、財源が確保できないため、すぐすぐの対応は難しい側面がある。 ・しかし、今年度から公共施設等適正管理推進事業債（公適債）の除却事業に翌年度の交付税措置が拡充となったため、これを活用していく予定である。
根岸委員 事務局	・計画策定時の目標はあるのか。 ・40年間で床面積を60%削減することを目標としていたが、現状は増えてしまっている。人口あたりの床面積も人口減による分母の縮小で施設を減らしても追いついていない。
根岸委員 事務局	・現状の施設数を抱えたままで、このまま放置を続けていくと維持費を含め、財政が圧迫され状況がますます厳しくなる。このことを数字で目に見えるようにして市民に知らせていくことも必要に感じる。 ・（先ほどの回答に補足して）公営住宅に関しては、施設の建替にあわせ、入居者に住替えを促し、古い住宅を解体しており、戸数の約4割削減に取り組んでいる。
根岸委員 事務局	・（計画策定時からあまり削減できていない現状をうけて）進捗管理は難しいのか。 ・実際に削減を行っているが間に合っていないのは、削減した施設の規模が小さいことが理由にあると考える。そのため、全体の占める割合の大きい施設を減らす必要性を感じている。
根岸委員 事務局	・廃校になった中学校について、利活用を希望する要望はなかったのか。 ・当室ではまだ、確認していない。
根岸委員	・サウンディングは実施したのか。

事務局	・数年前に教育委員会主体で、廃校跡地利活用委員会を行ったようだが、施設の一室を貸す程度の小規模なものであり、企業などからの打診はなかったようだ。
根岸委員	・次回の開催に向けて、事務局としてどのようなことを行っていくが知りたい。
事務局	・１０月ごろにアンケートを実施して、来年の１，２月ごろにワークショップを実施する予定。
根岸委員	・アンケートの対象者と内容について知りたい。
事務局	・細かな質問事項について決まっているわけではないが、主に公共施設をどれだけ利用しているか等の施設の必要性などについて意見を求め、見極めていきたいと考えている。
根岸委員	・今後の施設整備について、見通しはあるのか。
事務局	・スポーツ施設と温泉について、このまま維持していくことは難しいと考えており、入浴料等の利用料見直しも必要。利用料があがっても利用者が見込めるか察する必要がある。
根岸委員	・施設を維持した時と廃止解体を行った時のコストのシミュレーションを作してほしい。
丹生委員	・ワークショップは庁内に向けて行うものなのか。そうであれば、もっと市民に向けて行ったほうが良い。市民に向けてもっと現状の説明や意見聴取の機会を設けてほしい。
事務局	・ワークショップについては市民に向けて行う予定。現状の財政状況などを伝えて、実際に施設をどのように再編すれば維持が可能かなどのシミュレーションを行い実感してもらう等を考えている。
根岸委員	・公共施設のなかで学校の占める割合は大きい。どのくらいの費用は掛かっているのか。
事務局	・廃校して利用がなくなった施設についても警備等のコストがかかるため、年１００万程度はかかっていると思われる。
根岸委員	・利用がなくても避難施設に指定されていたりすることから簡単な話でないことは分かるが、学校施設の削減に取り組めればずいぶんと話は早くなるように感じる。 ・次回に向けて具体的な数字をもって方針をまとめていきたい。 ・今までのやり方で難しいのであれば、もっと別の方法も考える必要がある。
事務局	・どのような資料が必要か。
根岸委員	・他の市町村の動向が知りたい。市町村合併を行っていて、串間市に

事務局	比較的状況が似ているえびの市の比較もよいのではないか。 ・人口が近いこと、えびの市もよく比較にあがる自治体だが、串間市に比べてもともとの施設数が少ないため、比較にしづらいように感じている。
根岸委員	・施設活用のための提案、及び活用する方法、そういったものを串間市らしい形で実行していくほうが良い。 7. 第2回検討委員会の開催日程について ・3か月に一回程度を予定して、今回の会議を受けて新たに資料を作成する期間を含めて、11月の第3週頃を考えている。 ・全委員のスケジュールを確認し、次回は11月18日午前10時開始を予定。 8. その他 (事務局から委員に向けて連絡事項を説明) ・謝礼の口座情報の確認。 ・本委員会で配布した資料は委員会終了後に毎回、回収する。 ・資料が必要な場合は、コピーを渡す。 9. 閉会

以上のとおり、第1回串間市公共施設等総合管理計画検討委員会議事録として確認
します。

令和7年 10月 17日

委員

根岸 孝